

PRAEVIDENTIA DAILY (7月14日)

昨日までの世界：カナダ雇用統計の予想外の悪化でカナダドル急落

先週金曜は、他の主要通貨は殆ど動きがない中で、カナダドルだけが、カナダ6月雇用統計で雇用者数が-9400人と予想外に減少、失業率も7.1%へ予想外に上昇したことから、これまでの上昇でロングポジションが嵩んでいたとみられるカナダドルの下落が大きくなり、対米ドルで0.8%下落した。今週16日のカナダ中銀金融政策決定でも、既に市場が織り込んでいる以上のタカ派化は望み薄であることから、カナダドルの4月以降の上昇局面は終了し反落局面に入った可能性がある。ドル/円相場は、米長期債利回りが小幅に低下したが、101.30円近辺で殆ど動かず横ばいで引けた。

前日にユーロ圏金融危機を市場に思い起こさせたポルトガルのエスピリト・サント銀行問題については、格付け機関S&Pが長期格付けをダブルBマイナスからBプラスへ格下げし、株価は下落が続いたが、同銀が自己資本維持に支障がないと発表したほか、他の金融機関やポルトガル財政への影響は限定的との見方が広がったこともあり、ポルトガル国債やスペイン、イタリア国債など周縁国の債券利回りは反落した。とはいえユーロは対ドルで全く反発せず、対ドル相場は1.36ドル丁度近辺での横ばいに終始した。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.0	-0.01	-0.01	+0.00	-0.01	-0.02	-0.01	+0.1	-0.3	-2.0	-1.8
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	-0.0	+0.01	+0.00	-0.01	+0.02	+0.01	-0.02	+0.2	+0.1	-1.8	-0.06
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	-0.1	-0.02	-0.03	-0.01	-0.01	-0.03	-0.02	+0.3	+0.1		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	-0.0	-0.02	-0.03	-0.01	-0.03	-0.05	-0.02	+0.1	+0.4	-0.9	
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	-0.1	+0.02	+0.02	-0.01	-0.03	-0.05	-0.02	+0.1	+0.4	-0.9	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	+0.8	+0.01	-0.01	-0.01	+0.01	-0.02	-0.03	+0.1	-2.0	-0.9	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.7	-0.05	-0.06	-0.01	-0.09	-0.12	-0.03	-0.9	-1.8	-3.1	-3.6
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	+0.1	+0.06	-0.00	-0.06	+0.06	-0.06	-0.12	-3.7	-0.9	-3.6	+0.13
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.3	-0.02	-0.07	-0.06	-0.05	-0.18	-0.12	-1.4	-0.9	-0.6	-3.2
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	+0.8	+0.01	-0.05	-0.06	+0.05	-0.07	-0.12	-1.4	-0.9	-0.6	-3.2
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	-0.3	-0.01	-0.07	-0.06	-0.03	-0.16	-0.12	-2.6	-0.9		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	+0.8	-0.03	-0.06	-0.03	-0.01	-0.12	-0.12	-1.4	-0.9	-3.1	-3.2

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：株価を覗む

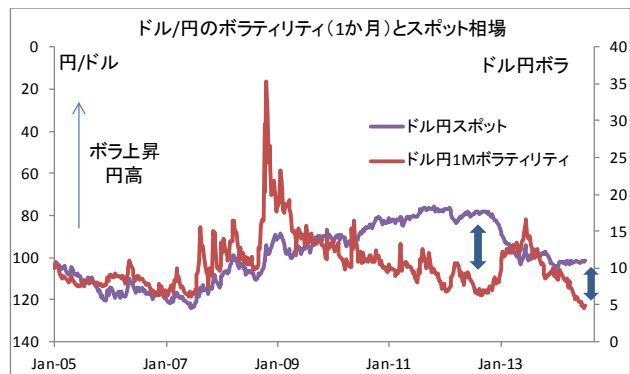
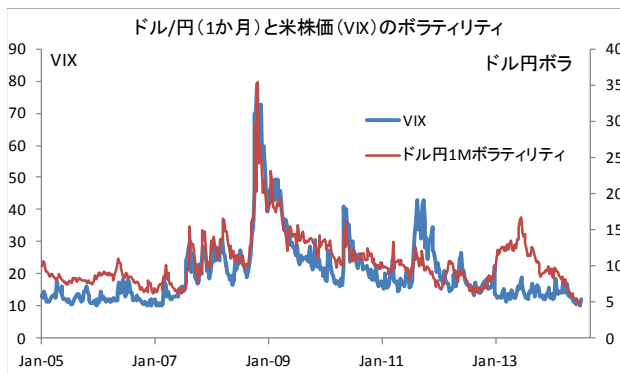
きょうの注目通貨：GBP/JPY、USD/JPY、TRY/JPY、ZAR/JPY

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
ユーロ圏5月鉱工業生産・前月比	18:00	+0.8%	-1.2%	
Draghi・ECB 総裁議会証言	2:30			
中国6月新規人民元建て融資額・元		8708億	9550億	発表は14日か15日
中国6月総資金調達額・元		1兆4045億	1兆4250億	同上

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日も材料が少ない中で、米国を中心とする株価を覗んだ展開となる可能性がある。アジア時間は先週金曜の米株価の小幅上昇を受けて、日経平均の持ち直しがドル/円を下支えするかもしれないが、米企業決算発表（本日はCitigroup等の決算発表が予定されている）に向けては、米株価のこれまでの一方向の上昇に一服感がみられている中で、よほど市場予想を大きく上回る好決算が相次ぐ状況にならないと、米株価が再び高値更新を続ける上昇トレンドに戻るのには難しいかもしれない。また株価と連動性が高いボラティリティ（VIX指数）も2007年以降の水準に低下していることも踏まえると（**下図を参照**）、米株価の続落がVIX指数の上昇に繋がり、株安トレンドを強めるリスクが高まっている状況だ。

米株価が焦点となる場合、連動性が高いのはポンド/円やドル/円で、株価への感応度の高さの点ではトルコリラ/円や南アランド/円に妙味がある（いずれも株高だと上昇、株安だと下落）（詳細は12日付当社週次レポート「米株価（S&P）とポンド（Sterling Pound）」を参照）。なお、米株価とドル/円の各々のボラティリティは連動性が非常に高い一方、ドル/円は2010年以降やや乖離する局面も増えてはいるが、基本的にボラティリティ上昇と円高が同時に起こることが多く、米株安・米株ボラティリティ上昇はドル/円のボラティリティ上昇と円高に繋がり易いとみられる（**下図を参照**）。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社

金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第2733号

一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641